

目 次

ごあいさつ	03
静岡医療科学専門大学校 大学校長 金山 尚裕	
総 説	
二足歩行となったヒトの分娩 ～“頭位での分娩”：頭位で分娩となる必然性, 合理性に関する考察～	04
かば記念病院 産科 成瀬 寛夫	
報 告	
¹³⁷ Cs標準線源によるガンマ線源CTの基礎実験	14
静岡医療科学専門大学校 医学放射線学科 長野 宣道	
原 著	
介護老人保健施設における新型コロナウイルス(COVID-19)集団感染の報告	28
介護老人保健施設エーデルワイス 施設長 今村 陽子	
従来の看護教育からの脱出： Z世代にある看護学生の学習を楽しくするゲーミフィケーション	32
静岡医療科学専門大学校 看護学科 佐貫 淳子	
高齢者サロンに参加している高齢者の認知機能と活動・参加に関連する要因の検討	40
静岡医療科学専門大学校 作業療法学科 青柳 翔太	
2価鉄溶液を用いた室内空間の脱臭効果に関する検討	46
静岡医療科学専門大学校 医学検査学科 森 胡桃 村松 香奈	
医学検査学科学学生の学校生活における大学生生活不安尺度を用いた検討	52
静岡医療科学専門大学校 医学検査学科 尾形 隆夫	
症 例	
Achenbach症候群の3例	60
十全記念病院 皮膚科 浦野 聖子	
青翔保健科学Journal雑誌投稿規定／青翔保健科学Journal雑誌執筆要項	64
編集後記	70

青翔保健科学ジャーナル第4巻の発行にあたって

静岡医療科学専門大学校 大学校長
青翔保健科学ジャーナル編集長

金山 尚裕

昨年本校は大学化を目指し動き出しました。文部科学省の大学設置審議会では教官の評価が特に重要視されます。大学のミッションは質のよい教育と研究を行うことです。そのために教育と研究が車の両輪の如く稼働することが肝要です。研究の成果として論文がありますが、本校には既に学術雑誌「青翔保健科学ジャーナル」があり創刊以来、優秀な論文が掲載されています。本雑誌は本校の研究の受け皿としての役割を果たしてきましたが、今後は大学化に向けて研究活性化の一翼を担うものと期待しています。論文をよく書く研究者はよき教育者であることは私の長年の経験から間違いのない事実です。よき研究者は自身の研究から多くの知識を得ているため、十年一日の如くの教育は行いませんので、学生や後輩に学習意欲を増すためのよき教育ができます。

今回青翔保健科学ジャーナル第4巻が発行されることになりました。多くの優秀な論文が掲載され本学教官および関連施設医療者の質の高さが示されました。今回は1本の総説、5本の原著論文、症例報告1本、そして報告が1つ掲載されています。臨床医学的、基礎医学的な論文、また貴重な症例報告など多彩な内容となっています。本誌は査読制を取っていますのでどの論文も編集委員の査読を経たもので科学的に記載されています。研究を行い論文執筆まで行った先生方に敬意を表するとともに、これを契機にしてさらなる研究の推進を期待します。本雑誌は静岡医療科学専門大学校のみならず関連の施設、関連の医療者そしてOBの皆様に広く開かれています。多くの投稿を期待しますのでよろしくお願ひします。また最後になりますが、編集委員会の実務の責任者として作業療法学科の小川元大先生と医学検査学科の小笠原篤先生には昨年と同様本号で中心的役割を果たして頂きました。ここに深謝いたします。